

## 什器仕様図

### 1 植物標本庫(2列11段) 防虫剤用引出し付

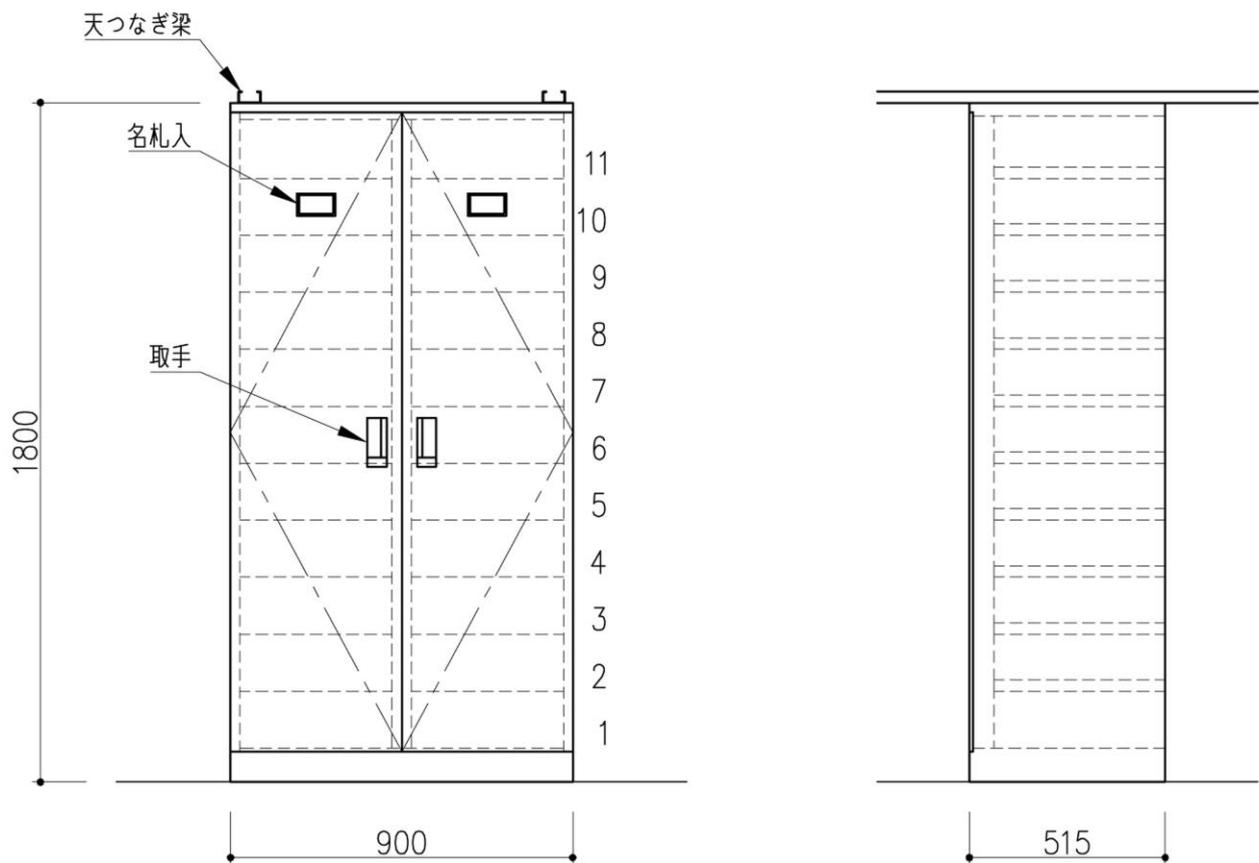
材料：使用鋼材はJIS-G-3141に規定する冷間圧延鋼板とする。天板・側板・扉板・底板・裏板・中間仕切・棚板は1.0mm、扉補強は0.6mm、棚受は1.6mmを使用する。

構造：両開き、横連結可能、棚板20枚付、中仕切付、引出付、アウトドアー棚受は取り外し可能とする。

前処理：リン酸被膜処理をほどこす。

仕上：粉体塗装。

耐震対策：天つなぎ梁を設置する。設置不能箇所については別途協議する。



## 2 昆虫標本箱収納庫 アジャスター付

材料：使用鋼材はJIS-G-3141に規定する冷間圧延鋼板とする。天板・側板・扉板・底板・裏板は1.0mm、扉補強は0.6mm、棚受は1.6mm、棚受柱は0.8mmを使用する。

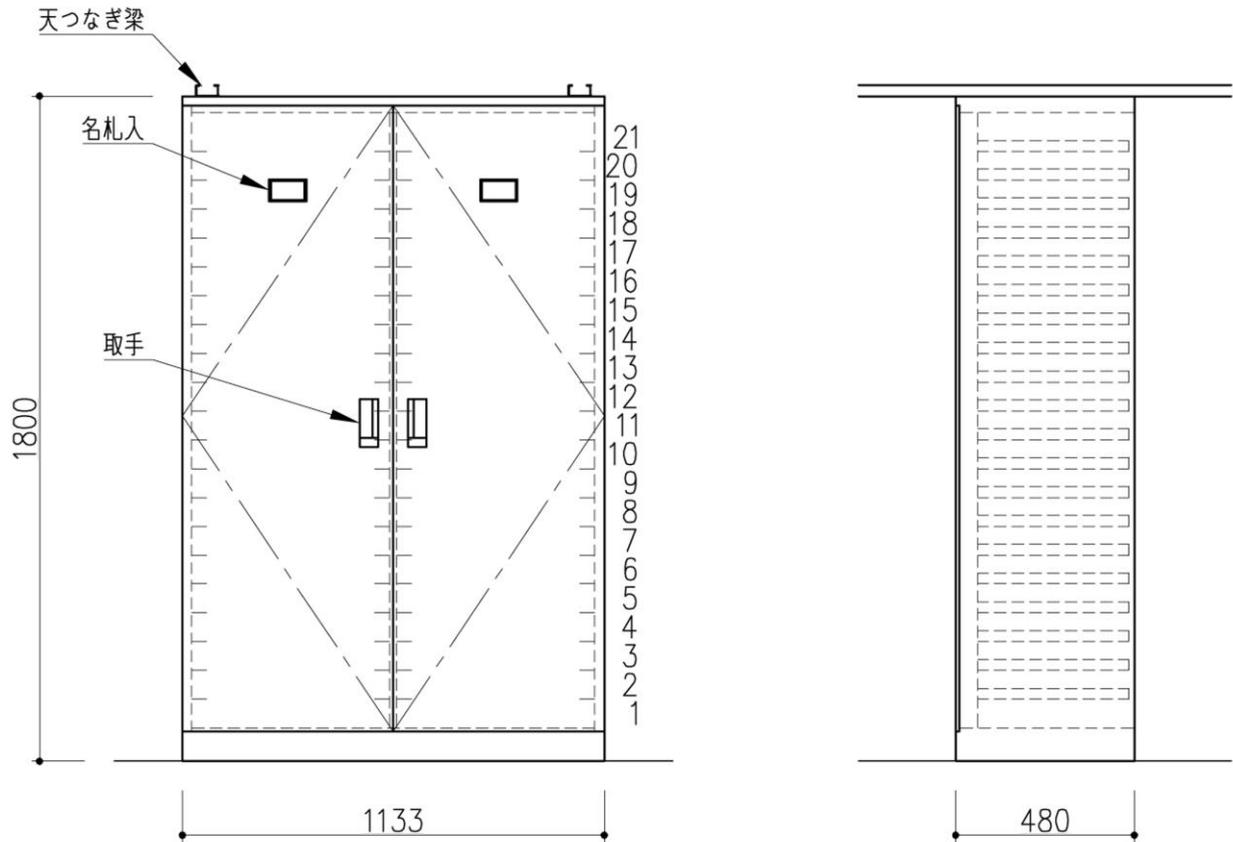
構造：両開き、横連結可能、中仕切板付、アウトドアー棚受は取り外し可能とする。

昆虫標本箱（W510×D420×H60mm）を2列21段で収納できること。

前処理：リン酸被膜処理をほどこす。

仕上：粉体塗装。

耐震対策：天つなぎ梁を設置する。設置不能箇所については別途協議する。



- 3 両開扉型地学標本庫 (4段タイプ：上段)
- 4 引出し型地学標本庫 (引出8段タイプ：下毅)

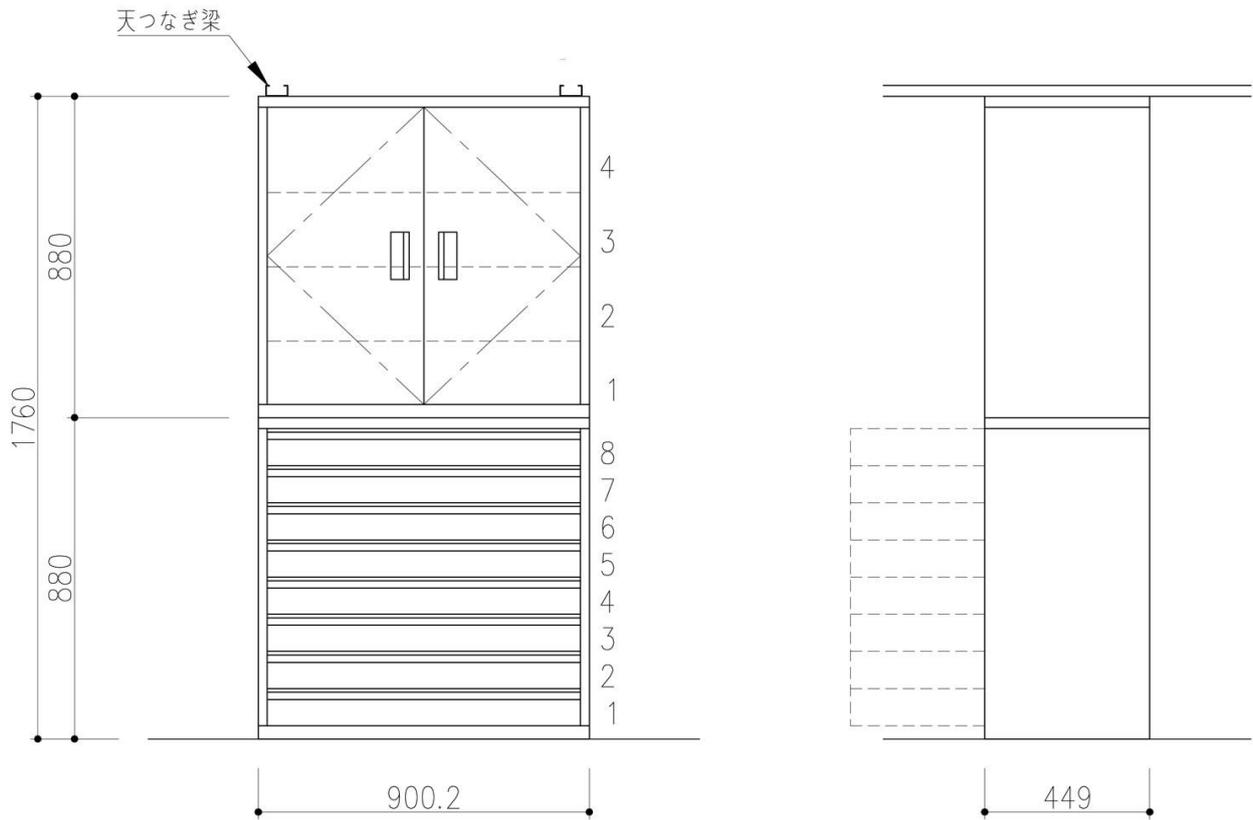
材料：使用鋼材はJIS-G-3141に規定する冷間圧延鋼板とする。

天板・側板・背板・底板は0.8mmを使用する。

前処理：リン酸被膜処理をほどこす。

仕上：粉体塗装。

耐震対策：天つなぎ梁を設置する。設置不能箇所については別途協議する。



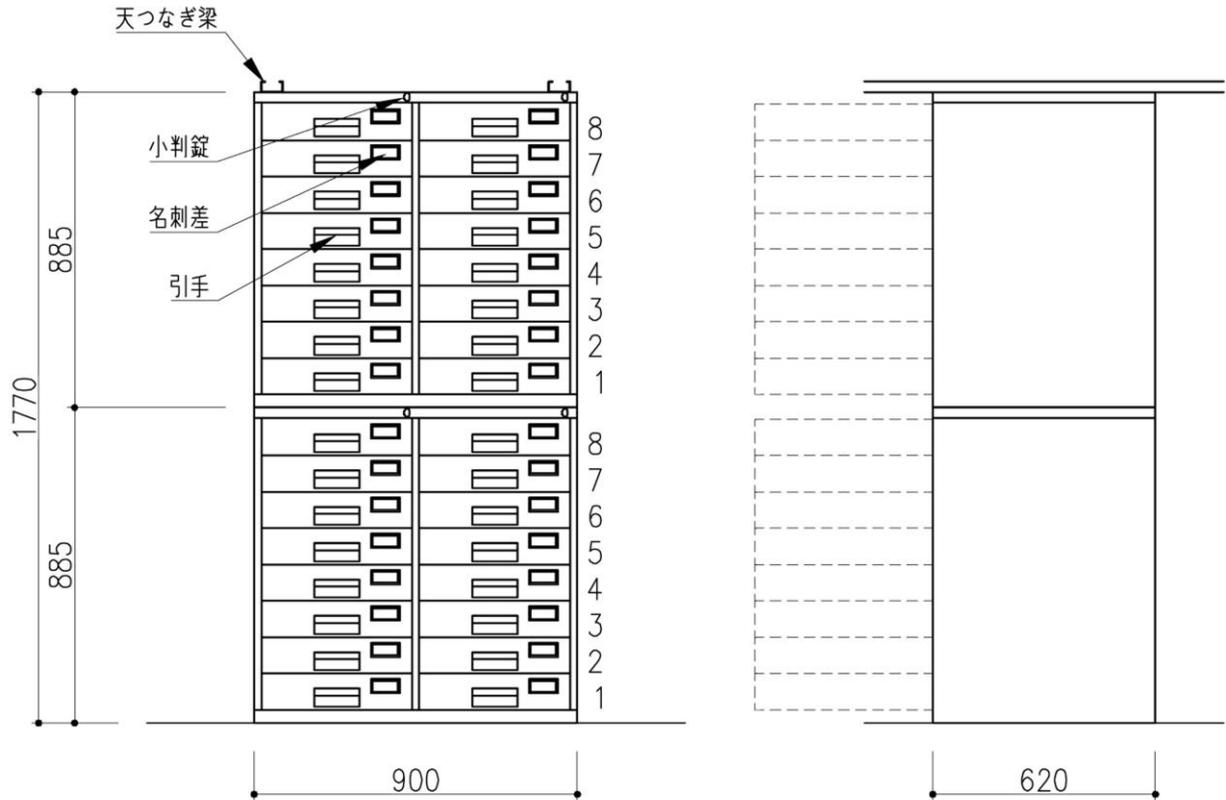
5 引出し型生物標本庫(2列8段) ※2段積で設置

材料：使用鋼材はJIS-G-3141に規定する冷間圧延鋼板とする。

天板・側板・底板・裏板・縦仕切板・鏡板は0.8mm、引出胴・鏡板カバー・引出後板は0.7mm、引出レールは1.6mmを使用する。

仕上：粉体塗装。

耐震対策：天つなぎ梁を設置する。設置不能箇所については別途協議する。



6～8 中量ボルトレスラックA、B、C

中量ボルトレスラック共通の仕様

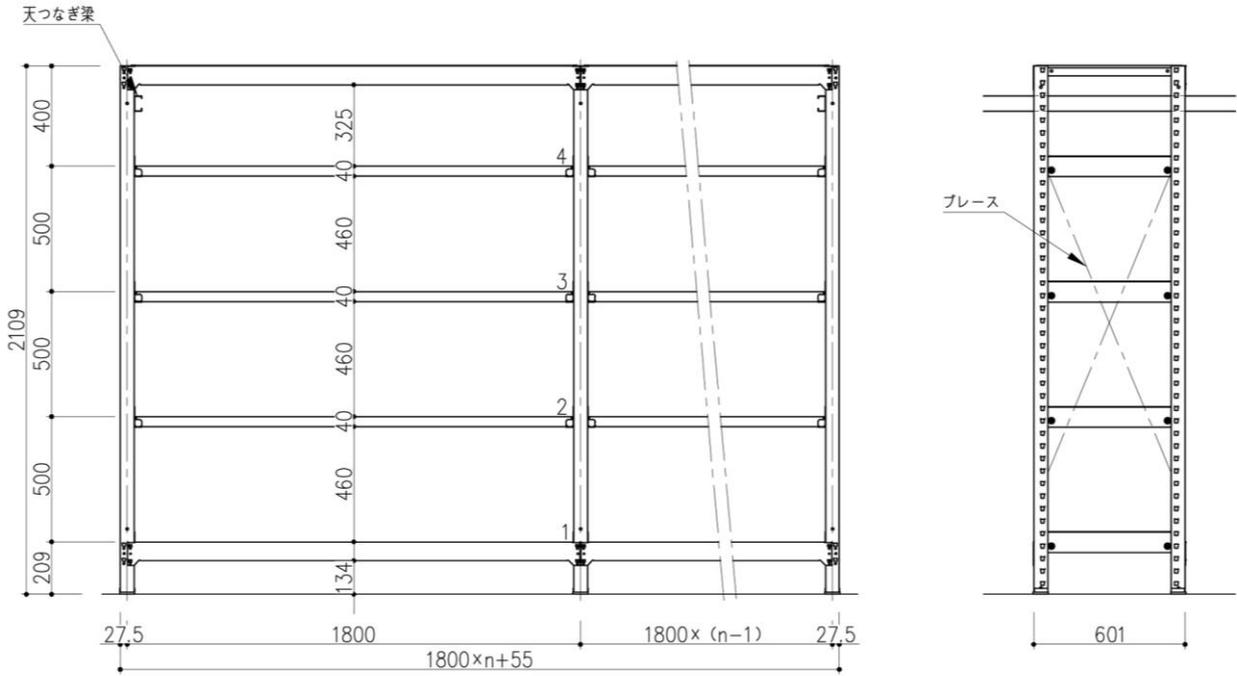
構成部品一覧

部品名	規格(JIS 番号)	材質	板厚t	表面仕上げ
支柱	G3131	SPHC	1.6mm 以上	粉体塗装
ビーム	G3131	SPHC	2.0mm	粉体塗装
棚板	G3141	SPCC	0.7mm 以上	粉体塗装
天棚受	G3131	SPHC	2.0mm	粉体塗装
中棚受	G3131	SPHC	2.0mm	粉体塗装
ロックピン	G3505	SWRM		ユニクロメッキ
ベースプレート(金具)	G3131	SPHC	3.2mm	ユニクロメッキ
側ブレース(平)	G3131	SPHC	3.2mm	粉体塗装
天つなぎ梁	G3131	SPHC	1.6mm	粉体塗装

- ① 棚の主構造は組立・解体が容易なボルトを必要としないノンボルト構造とすること。
- ② 支柱の形状は、横からのねじれにも強い C 型(55×55×8 mm)とすること。
- ③ 支柱の鋼材厚は、1.6 mm以上とすること。
- ④ 棚板は 1 枚/1 段とし、分割は不可とする。
- ⑤ 棚板耐荷重(等分布荷重にて)は、300 kg/段以上とすること。
- ⑥ ラック 1 連当たりの耐荷重は 2500 kg以上とすること。
- ⑦ 棚の段ピッチは 25 mm以内にて上下に調整が可能なものとすること。
- ⑧ 1 連当りの間口有効寸法(棚板実寸)は W 寸法に対し 60 mm以内とし、奥行き有効寸法(棚板実寸)は D 寸法に対し 21 mm以内とすること。
- ⑨ 塗装色は、ベージュ系色とする。(参考色 サングレー色)
- ⑩ 棚には全て、側面側にブレースを取り付けること。
- ⑪ 地震対策として、天つなぎ梁(C 型 60×30×10 mm 板厚 1.6 mm)を施すこと。

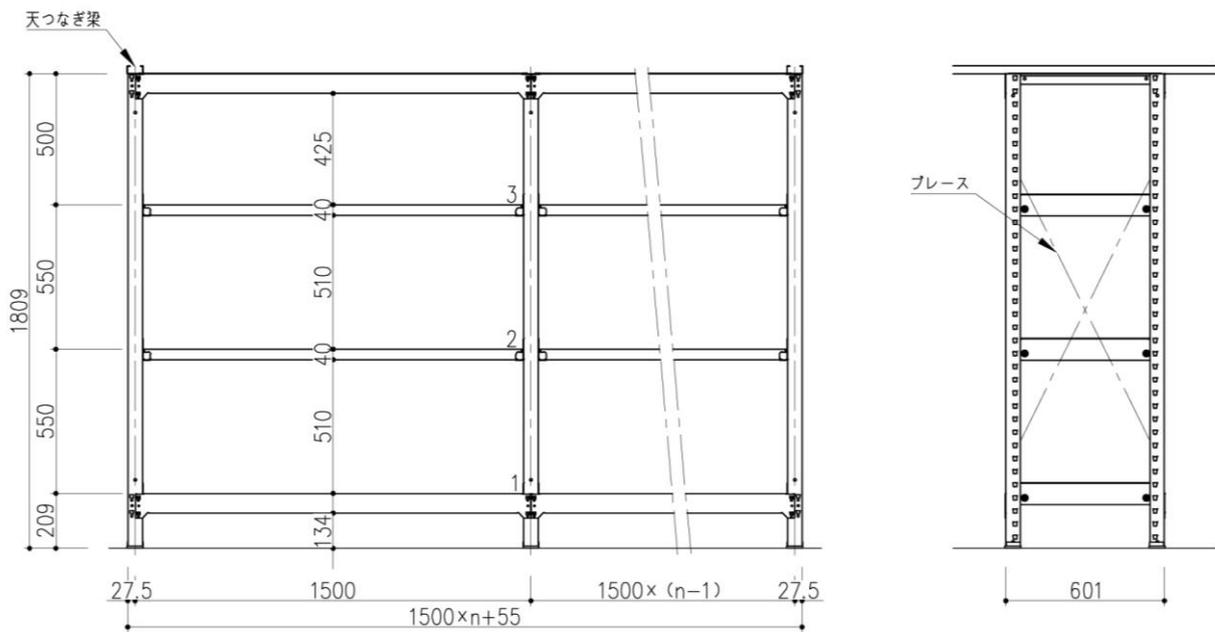
6 中量ボルトレスラックA

天地5段 W1800×D601×H2109



7 中量ラック B

天地4段 W1500×D601×H1809





9 木製舟格納用スチール製片持ち保管棚

材料：スチール製

仕様：W7900×D1450×H2495(保管物サイズ W8000×D950×H650)

6連式 (片持ち 2段・落下防止ベルト付き・最上段棚板付き) × 2台

仕上：粉体塗装 (指定色)

付属品：床止め、落下防止ベルト付 (5PJ-M08黒)

特記事項：ボルト・アンカー SUS製

